

ワイヤレスヘッドホンシステム
CPI-WX101 シリーズ
ユーザーズマニュアル



株式会社 シーピーアイテクノロジーズ

目次

ご注意	I
保証規定	III
安全上のご注意	IV
製品について	VI
1. 概要	1
1-1. はじめに	1
1-2. 機能と特長	2
2. 詳細	3
2-1. 親機 タイプMU	3
2-2. 親機 タイプMA	4
2-3. 子機 タイプS	5
3. 親機の準備（タイプMUの場合）	7
3-1. デバイスドライバのインストール	7
3-2. 既定のデバイスにする場合	8
3-3. アプリケーションでの例	8
4. 子機の準備	9
4-1. 電池の取り付け	9
4-2. ペアリング	9
5. 使用	10
5-1. 基本的な使用方法	10
5-2. 子機の電池交換時期	10
5-3. 音の途切れ	10
6. おかしいと思ったら	11
7. 製品仕様	12
製品のお問い合わせについて	13

ご注意

1. 本製品の外観や仕様及び取扱説明書に記載されている事項は、将来予告なしに変更することがあります。
2. 取扱説明書に記載のすべての事項について、株式会社シーピーアイテクノロジーズから文書による許諾を得ずに行う、あらゆる複製も転載も禁じます。
3. この取扱説明書に記載されている会社名及び製品名は、各社の商標又は登録商標です。
4. 取扱説明書の内容を十分に理解しないまま本製品を扱うことは、おやめください。本製品の取扱いについては安全上細心の注意が必要です。取扱い説明を十分に理解してから本製品をご使用ください。
5. 本製品をお使いいただくには、コンピュータや Windows についての一般的な知識が必要です。この取扱説明書は、お読みになるお客様がコンピュータや Windows の使い方については既知であることを前提に、製品の使いかたを説明しています。もし、コンピュータや Windows についてご不明な点がありましたら、それらの説明書や関係書籍等を参照してください。
6. 本製品は、日本国内においてのみ、無許可で使用が可能です。国外では、そのまま使用することはできません。
7. 本製品は 2.4GHz 帯の無線を使用しています。同じ周波数帯を使用する無線 LAN アクセスポイントや無線 LAN、Bluetooth 搭載機器（パーソナルコンピュータ、ゲーム機、スマートフォンなど）やアマチュア無線、デジタルコードレス電話、電子レンジ等と電波の干渉が発生するため、これらの機器に妨害を与えたり、またこれらの機器から妨害を受けて、音声が届けられず、リンクが切断する可能性もあります。特に昨今ではこの周波数帯の利用機器が著しく増加したため、その可能性はさらに高くなっている状況にあるものと思われます。また、上記のような環境下でない場合においても、無線の性質上、音声が届けられず、可能性も考えられます。したがって、運用の際は、実際に使用される場所での通信品質の妥当性の検証を十分に行ってください。しかし、いずれの場合においても、音声の届かないことは保証できかねますので、それが必要となるアプリケーションには、ご使用にならないでください。

8. 本製品に内蔵の無線モジュールのハードウェア、ソフトウェアに変更を加えて、弊社出荷時と異なる状態にして動作させることは、法律違反となります。絶対におやめください。
9. 本製品の運用や、それに関する情報は、明示、暗示にかかわらず、それにより起因する結果のすべてについて、弊社はその責任を負いかねます。

保証規定

1. 保証の範囲

- 1.1 この保証規定は、弊社—株式会社シーピーアイテクノロジーズが製造・出荷し、お客様にご購入いただいたハードウェア製品に適用されます。
- 1.2 弊社によって出荷されたソフトウェア製品については、弊社所定のソフトウェア使用許諾契約書の規定が適用されます。
- 1.3 弊社以外で製造されたハードウェア又はソフトウェア製品については、製造元／供給元が出荷した製品そのままを提供いたしますが、かかる製品には、その製造元／供給元が独自の保証を規定することがあります。

2. 保証条件

弊社は、以下の条項に基づき製品を保証いたします。不慮の製品トラブルを未然に防ぐためにも、あらかじめ各条項をご理解のうえ製品をご使用ください。

- 2.1 この保証規定は弊社の製品保証の根幹をなすものであり、製品によっては、その取扱説明書や保証書などで更に内容が細分化され個別に規定されることがあります。したがって、ここに規定する各条項の拡大解釈による取扱いや特定目的への使用に際しては十分にご注意ください。
- 2.2 製品の保証期間は、製品に添付される「保証書」に記載された期間となり、弊社は、保証期間中に発見された製品の不具合について保証の責任をもちます。
- 2.3 保証期間中の製品の不具合について、弊社は不具合部品を無償で修理又は交換します。ただし、次の場合は保証の適用外となります。
 1. 保証書の提示がない場合、または、保証書にご購入年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、もしくは字句が書き替えられた場合。
 2. 取扱上の不注意や誤用による故障や損傷。
 3. 接続している他の機器または指定以外の部品使用に起因して故障が生じた場合。
 4. 弊社指定以外で調整や保守、修理などを行った場合、及び改造した場合。
 5. 火災、地震、風水害、落電、その他の災害や公害、異常電圧などによる故障や損傷。
- 2.4 消耗部材を取り替える場合は保証の対象とはなりません。
- 2.5 原子力関連、医療関連、鉄道等運輸関連、ビル管理、その他の人命に関わるあらゆる事物の施設・設備・器機など全般にわたり、製品を部品や機材として使用することはできません。もし、これらへ使用した場合は保証の適用外となり、いかなる不具合及び損害や損失についても弊社は責任を負いません。また、本製品を用いて製造された二次生成物がこれらに使用された場合も同様とします。
- 2.6 弊社は本製品の運用を理由とするいかなる損害、損失等の請求につきましては、これに応じかねますので、あらかじめご了承ください。
- 2.7 本製品は日本国内向け仕様であり、海外の諸規格には準拠しておりません。また、海外で使用した場合は保証の適用外となります。

安全上のご注意

ここに示す注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐためのものです。

注意事項は、誤った取扱いで生じる危害や損害の大きさ、又は切迫の程度によって内容を「警告」と「注意」の2つに分けています。「警告」や「注意」はそれぞれ次のことを知らせていますので、その内容をよくご理解なさってから本文をお読みください。

警告： この指示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡したり重傷を負ったりすることがあります。

注意： この指示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物に損害を受けたりすることがあります。



—— 感電や火災の危険があります ——

- 電池は正しい極性でお使いください。誤った極性のままお使いになると、火災や破裂のおそれがあります。また、異なる種類の電池や、新旧の電池を混ぜてお使いにならないでください。火災や破裂のおそれがあります。
- 万一、水などの液体が本製品内部に侵入した場合は、すぐにUSBケーブル、電池を本体から抜いてください。そのまま使用すると、火災や感電のおそれがあります。



注意

取り扱いかたによっては
—— けがをしたり機器を損傷することがあります ——

- 直射日光のあたる場所、極端に高温・低温になる場所、湿度の高い場所、ほこりの多い場所、静電気の多い場所では使用しないでください。
- 急激な温度差を与えると結露が発生する可能性があります。発生した場合は必ず時間をおき、結露が無くなってから使用してください。
- 衝撃に弱い部品を使用していますので、持ち運びは慎重に行ってください。落下など強い衝撃を与えますと、故障の原因となったり、機能に異常が発生することがあります。
- 本製品を長期間使わない場合は、電池を取り出しておいてください。液漏れにより、本製品が損傷する可能性があります。
- ヘッドホンやイヤホンなどを耳に装着したままプラグを抜き差ししたり、本製品の電源スイッチをオン／オフしたりしないでください。大きな音やノイズなどにより、耳に損傷を与える可能性があります。
- ヘッドホンやイヤホンなどで長時間大音量で聴き続けることは止めてください。耳に損傷を与える可能性があります。

製品について

製品リスト

親機は、入力に応じて MU または MA から 1 つをお選びください。その親機に対して、子機を 4 台まで無線接続できます。これが 1 つの無線グループとなります。

機能	型番	タイプ	概要	説明	付属品
親機	CPI-WX101/MU	MU	デジタル(USB)入力	PC 等で再生できる音声を子機へ送信します	USB ケーブル
	CPI-WX101/MA	MA	アナログ入力	AV 機器のヘッドホンやイヤホン出力の音声を子機へ送信します	AC アダプタ※1
子機	CPI-WX101/S	S	アナログ出力	親機からの音声を受信して、ヘッドホンやイヤホンなどに出力します	なし※2

※1. ϕ 3.5mm ステレオミニプラグのオーディオケーブルを別途ご用意ください。

※2. 単 4 のアルカリ乾電池またはニッケル水素充電電池(エネループなど)が 2 本必要です。

- 複数の無線グループを作ること自体は可能ですが、電波が干渉し合う可能性があります。妨害がある周波数を検知して避ける機能を持つ無線モジュールを採用していますが、親機と子機の位置関係によっては、子機の音声途切れや、音声品質が低下する可能性があります。特に親機同士を近接させると、その可能性は高くなります。
- タイプ MA の親機の入力は、ヘッドホンやイヤホン端子の出力を想定しています。対応ケーブルを使えば、いわゆるライン出力からも接続すること自体は可能ですが、本機の入力には保護回路があり、1Vrms 付近からひずみが発生するため、お勧めはしません。昨今の AV 機器では、最大出力レベルが 1Vrms 程度のものが多いようです。ライン出力レベルを調整できる機器もあります。古いオーディオ機器では、JEITA 仕様の最大出力レベルである 2Vrms のものもあります。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止して下さい。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社までお問い合わせ下さい。

1. 概要

1－1. はじめに

ワイヤレスヘッドホンシステム CPI-WX101 シリーズは、音声を無線化して、ヘッドホンやイヤホン(以降ヘッドホンに含む)へ出力できる装置です。親機は入力音声に応じて 2 種類あり、音声を無線化して子機へ送信します。子機は音量調整付きのヘッドホンアンプであり、親機からの音声を受信してヘッドホンへ出力します。子機は最大 4 台まで親機に無線接続できます。

1-2. 機能と特長

共通

- 音声をデジタル化して伝送するため、高品質な再生が可能です。
- 音声を圧縮せずに伝送するため、遅延の少ない再生ができます。
- 日本国内では無許可で使用できます(工事設計認証取得済み弊社 CPI-WAM001 無線モジュール使用)。
- 一度ペアリングをすれば、以降は自動的にリンクします。
- リンク状態を示すランプがあります。

親機タイプ MU (USB デジタル入力) のとき

- PC 等の USB ポートと接続して、音楽などを無線で飛ばすことができます。
- PC の Windows では、USB オーディオデバイスのスピーカーとなるため、PC 上で再生できるあらゆる音源が無線化できます。
- 音源からのデータ改変がない、ビットパーフェクトな伝送が可能です。
- PC 等とは、付属の USB ケーブルをつなぐだけなので簡便です。
- 薄型の小型ケースなので設置場所を選びません。

親機タイプ MA (アナログ入力) のとき

- オーディオ機器のヘッドホンが無線化できます。
- テレビのイヤホンが無線化できます。映像からの音声の遅れも違和感のない範囲なので、映画鑑賞やビデオゲームなどにも十分お使いいただけます。
- 複数人でテレビを見るときに、子機をお使いになる方ごとに独立した音量にできるため、テレビ自体の音量を大きくする必要がなくなります。4 人までであれば、すべての方がお好みの音量でテレビを楽しむことも可能です。

子機タイプ S

- ヘッドホン向けの専用 IC で音声を増幅、音量調整をしているため、高音質な再生ができます。
- 同時に 4 台までお使いいただけます。
- 電池駆動なので、音声を聞きながら移動することもできます。

2. 詳細

2-1. 親機 タイプMU

このタイプの親機は、PC等の音声データを子機へ送信します。添付のUSBケーブルで、USBポートと接続します。親機の電源は、USBを使用しています（バスパワー）。

下記の条件下においては、音源データと全く同一のデータの子機側へ伝送すること（ビットパーフェクト）も可能なため、より高音質な再生ができます。

ビットパーフェクトの要件

WASAPI 対応オーディオプレーヤー（アプリケーション） プレーヤーの音量は最高値（減衰量 0dB） プレーヤーのイコライザなど音を変化させる機能は無効



番号	名称	説明
①	USB コネクタ	付属の USB ケーブルを接続するコネクタです。
②	リンク LED	子機との無線接続(リンク)の状態を示す青色のランプです。 点灯：接続 点滅(0.02 秒点灯/0.98 秒消灯)：未接続 消灯：電源オフ

2-2. 親機 タイプMA

このタイプの親機は、オーディオ機器のヘッドホン端子やテレビのイヤホン端子など AV 機器のアナログ音声出力を子機へ送信します。これらの端子は、機器の音量調整（ボリューム）によって、その出力レベルが変化します。子機の音量調整と合わせて、お好みのバランスの音量でご使用ください。ただし、親機にとって機器側の音量が大き過ぎる場合は、子機の音声にひずみが発生しますので、その際は機器側の音量を下げてください。



番号	名称	説明
①	音声入力 (AUDIO IN)	AV 機器のイヤホン/ヘッドホン端子からのケーブルを接続する ϕ 3.5mm ステレオミニジャックです。
②	電源スイッチ (POWER ON)	電源をオン／オフします。 電源オン：パワーLED が点灯するまで押し続け、点灯したら離します。 電源オフ：パワーLED が消灯するまで押し続け、消灯したら離します。
③	電源入力 (DC IN)	添付の AC アダプタのプラグを接続する端子です。
④	パワーLED (POWER)	電源の状態を表す緑色のランプです。 点灯：電源オン 消灯：電源オフ
⑤	リンク LED (LINK)	子機との無線接続(リンク)の状態を示す緑色のランプです。 点灯：接続 点滅(0.02 秒点灯/0.98 秒消灯)：未接続 消灯：電源オフ

2-3. 子機 タイプS

子機は、送信ユニットからの電波を受信して、音声データに変換し、増幅して出力します。受信したデータにエラーがあると判断した場合は、無音を出力します。よって、再生される音声には、基本的に耳障りなノイズは発生しません。ヘッドホン端子には、ヘッドホンを接続できます。市販のアンプ付きスピーカーであれば、接続することができます。適切な音量に調整のうえ、ご使用ください。



番号	名称	説明
①	電源スイッチ	電源をオン／オフします。 電源オン：パワーLED が点灯するまで押し続け、点灯したら離します。 電源オフ：パワーLED が消灯するまで押し続け、消灯したら離します。
②	音量スイッチ	音量を変更します。電源オン後は、最小音量から始まります。 ▲ボタン：押すたびに音量が大きくなります。押し続けると自動的に大きくなっていきます。 ▼ボタン：押すたびに音量が小さくなります。押し続けると自動的に小さくなっていきます。 ※同時に押すとミュート(無音)となります。解除も同じ操作です。
③	パワーLED	電源の状態を表す緑色のランプです。 点灯：電源オン 消灯：電源オフ

④	リンク LED	親機との無線接続(リンク)の状態を示す緑色のランプです。 点灯: 接続 点滅(0.02 秒点灯/0.98 秒消灯): 未接続 点滅(0.02 秒点灯/0.16 秒消灯/0.02 秒点灯/0.8 秒消灯): ペアリング実行中 消灯: 電源オフ、ペアリング失敗(電源オンのとき)
⑤	ヘッドホン端子	ヘッドホンを接続するφ3.5mm ステレオミニジャック端子です。
-	電池ボックス	底面にある電池を取り付けるボックスです。 単 4 タイプの乾電池またはニッケル水素充電電池を 2 本使用します。

3. 親機の準備（タイプMUの場合）

3-1. デバイスドライバのインストール

この親機の場合、ホスト PC が必要となります。親機を接続すると、USB オーディオ機器として、自動的に使用可能になります。以下は Windows10 の例です。他の OS の場合でも、こちらを参考にしてください。

1. 親機とホスト PC との間を付属の USB ケーブルで接続します。
2. 親機に USB から電源が供給され、リンク LED が青色で点滅します。
3. しばらくすると、自動的に親機が使用可能になります。
4. 親機が使用可能になったかを確認する場合は、[スタート]-[設定]-[デバイス]とクリックすると、“Bluetooth とその他のデバイス”が開きます。その中の“オーディオ”に“CPI-WAM001-MU (Master-USB)”と表示されれば、親機は使用可能になっています。
5. 子機の電源を入れます。子機を初めてお使いになる場合は、先に“4. 子機の準備”を参照して実行してください。
6. 子機を PC のスピーカーの代わりにお使いになる場合は、次の“3-2. 既定のデバイスにする場合”を、オーディオプレーヤーなどの特定のアプリケーションでお使いになる場合は“3-3. アプリケーションでの例”を、参照してください。

3-2. 既定のデバイスにする場合

PC のスピーカーのように、基本的にホスト PC 上で発生するすべての音を子機から出力する場合は、以下のように設定します。

1. [スタート]-[設定]-[システム]-[サウンド]とクリックすると、“サウンド”が開きます。その中の“出力”の“出力デバイスを選択してください”の下ボックスから、“スピーカー (CPI-WAM001-MU (Master-USB))”を選びます。これで、Windows 上で発生する音は、基本的に親機を経由して子機から出力されます。
2. “マスター音量”のバーと子機の音量スイッチを操作して、音量を調整してください。“サウンドデバイスを管理する”をクリックして、“出力デバイス”から“スピーカー CPI-WAM001-MU (Master-USB)”をクリックすると、“テスト”ボタンが現われます。それをクリックすれば、子機からテスト音が出力されるので、それをお使いになることもできます。

3-3. アプリケーションでの例

サウンドプレーヤーで音源を再生する場合は、出力デバイスとして本製品を選択します。以下は“foobar2000 audio player”にそのコンポーネント“WASAPI output support”を適用済みでの例です。詳細は foobar2000 のホームページをご参照ください。

1. foobar2000 を起動し、[file]-[preferences]で[Playback]の中[Output]を選択し、“Device”下のボックスから“WASAPI (event):スピーカー (CPI-WAM001-MU (Master-USB))”または“WASAPI (push):スピーカー (CPI-WAM001-MU (Master-USB))”を選択します。“Output format”は必ず“16-bit”を選択します。OK をクリックして、この画面を閉じます。以降、このプレーヤーの再生音は、子機から出力されます。
2. ご希望の音楽ファイル等を再生すると、子機から出力されます。子機の音量スイッチを操作して、音量を調整してください。

4. 子機の準備

4-1. 電池の取り付け

子機に電池を取り付けます。単 4 乾電池（アルカリ電池を推奨）や単 4 ニッケル水素充電電池（エネルギーなど）2 本を、底面の電池ボックス内の表示のとおり正しく入れてください。

4-2. ペアリング

ペアリングとは、親機と子機を組み合わせ、無線ネットワークのグループを構築することを言います。子機を最初にご使用の際に、ペアリングを実行する必要があります。一度実行すれば、以降は自動的に無線接続（リンク）が確立します。

1. 親機がタイプ MU の場合は、添付の USB ケーブルで稼働中のホスト PC の USB ポートに接続します。親機がタイプ MA の場合は、添付の AC アダプタを接続して、電源をオンにします。正常であれば、親機のリンク LED が点滅（チカッ、チカッ、・・・）を繰り返します。
2. 親機からの電波が十分に届く範囲に子機を置いて、電源スイッチを長押しして電源をオンにします。正常であれば、子機のリンク LED が点滅（チカッ、チカッ、・・・）し、数秒後に消灯します。この状態で、もう一度電源スイッチを押してすぐに離すと、ペアリングを実行します。
3. ペアリング中リンク LED は、2 回点滅（チカチカ・・・チカチカ・・・）を繰り返し、数秒後に消灯しますが、通常すぐにペアリングが成功してしまうので、この状態にはなりません。例えば、親機の電源がオンでないときや、子機が親機から離れすぎて電波が届かないときなどに発生します。なおこの状態のまましばらく放置すると、自動的にペアリングを終了します。
4. ペアリングに成功すると、親機と子機の両方のリンク LED が点滅から点灯に変化します。成功しない場合は、2 項へ戻って繰り返します。
5. ペアリングに成功したら、子機の電源スイッチを長押しして一度オフにします。そして再び電源スイッチを長押ししてオンにします。自動的にリンクが確立し、リンク LED がすぐに点灯すれば正常です。

5. 使用

5-1. 基本的な使用方法

1. 親機がタイプ MU の場合は、ホスト PC の音源を再生します。親機がタイプ MA の場合は、AV 機器と接続して音声を出力します。
2. ヘッドホンやイヤホンの子機に接続して電源をオンにします。
3. ヘッドホンやイヤホンを装着して、好みの音量に調整してご使用ください。

5-2. 子機の電池交換時期

電池が減って子機が動作できなくなると、パワーLED が点滅して、自動的に電源がオフになります。このような動作になった場合は、新しい電池に交換してください。

5-3. 音の途切れ

この製品は電波を使用しているため、到達距離の目安である 10 メートル以内であっても、音が途切れる可能性を常に持っています。子機が親機からの電波を正常に受けられなくなると、通信エラーとなって無音となるため、音が途切れます。音の途切れを減少させるためには、一般的には以下の内容をお試しください。

- 親機と子機の距離を近づける
 - 親機が見通せる範囲で子機を使う
 - 親機と子機の距離を固定する（移動しない）
 - 親機と子機を電波妨害源（電波使用機器、金属）から離す
 - 親機や子機の設置の仕方や方向を変える
 - 親機をなるべく高い位置に設置する
- 子機をご使用中に落下させるなどの強い衝撃を受けた場合、電池が接触不良となって、音が途切れたままになる等の異常が発生することがあります。この際は、電源をオフにして、電池ボックス内の電池が正常であるかをご確認のうえ、電源をオンにしてください。

6. おかしいと思ったら

内容	確認事項、説明
親機の電源が入らない（タイプ MU）	1. ホスト PC の電源は入っていますか？ 2. ホスト PC がスリープ状態になっていませんか？ 3. USB ケーブルは正しく接続されていますか？
親機の電源が入らない（タイプ MA）	1. AC アダプタはコンセントに正常に接続されていますか？ 2. AC アダプタのプラグは正常に接続されていますか？ 3. 電源スイッチはパワーLED が点灯するまで押し続けますか？ 4. 電源スイッチはパワーLED が点灯しても押し続けていませんか？
子機の電源が入らない	1. 電池は正しく入っていますか？ 2. 電池の極性は正しいですか？ 3. 古い電池や違う種類の電池が混ざっていませんか？ 4. 電源スイッチはパワーLED が点灯するまで押し続けますか？
子機の電源が勝手に切れる	“5-2. 子機の電池交換時期”をご参照ください。
子機の電源が切れない	1. 電源スイッチはパワーLED が消灯するまで押し続けますか？
無線リンクがまったく成立しない	1. ペアリングを実行して成功しましたか？ 2. 親子間の距離が遠すぎませんか？ 3. 親子同士は見通し位置にありますか？ 4. 周囲に妨害要因がありませんか？
子機から音が出力されない（親機タイプ共通）	1. 無線リンクは確立していますか？ 2. ヘッドホンやイヤホンは正常ですか？ 3. ヘッドホンやイヤホンはヘッドホン端子に確実に挿されていますか？ 4. 音量が最小になっていませんか？ 5. ミュートになっていませんか？ 6. 子機に衝撃を与えませんでしたか？
子機から音が出力されない（親機タイプ MU）	1. PC の音源は正常ですか？ 2. デバイスドライバやアプリケーションは正常ですか？ 3. USB ケーブルのプラグは確実に挿されていますか？
子機から音が出力されない（親機タイプ MA）	1. AV 機器のヘッドホン/イヤホン端子から正常に音声が出力されていますか？ 2. AV 機器のヘッドホン/イヤホン端子の音量設定は正常ですか？ 3. オーディオケーブルは正常ですか？ 4. オーディオケーブルのプラグは確実に挿されていますか？
子機の実出力音が途切れる	“5-3. 音の途切れ”をご参照ください。
子機の実出力音に雑音が混じる	1. 無音時にかすかに聞こえるサーというノイズは正常です。 2. 電源オン／オフ時にかすかに発生するノイズは正常です。

7. 製品仕様

親機タイプ MU

インターフェイス	USB コネクタ	マイクロ B レセプタクル
	USB 仕様	USB2.0 Full Speed オーディオデバイスクラス
	対応フォーマット	PCM ステレオ 16 ビット 32/44.1/48kHz ^{*1}
本体	表示	電源/リンク: 青色 LED
	電源	USB より供給 バスパワー (ハブ対応) 4.4~5.25V 100mA 以下
	寸法	38.6mm × 78.6mm × 15.5mm
	重量	約 32g
	確認済み OS	Windows7, 8.1, 10, 11, IOS 9.2.1
付属品	USB ケーブル	A プラグ-マイクロ B プラグ 約 1.8m

^{*1} OS や音声再生ソフトは、デバイス側の能力値に合わせてデータを変換することができるため、これ以外のデータでも再生すること自体は可能です。

親機タイプ MA

インターフェイス	アナログ入力	φ 3.5mm ステレオミニジャック 入力抵抗: 22kΩ
	最大入力レベル	約 1Vrms (過電圧保護)
	対応音源	AV 機器のヘッドホン/イヤホン出力
本体	表示	電源: 緑色 LED, リンク: 緑色 LED
	スイッチ	電源オン/オフ
	電源コネクタ	DC ジャック (EIAJ-2)
	電源	5V 100mA 以下
	寸法	74mm × 120mm × 32.5mm
	重量	約 150g
付属品	AC アダプタ	AC100~240V 50/60Hz 0.3A

子機タイプ S

インターフェイス	ヘッドホン出力	φ 3.5mm ステレオミニジャック 適合負荷インピーダンス 16Ω 以上
本体 s	アンプ	100mW @ 16Ω
	音量調整	64 ステップ+ミュート
	表示	電源: 緑色 LED, リンク: 緑色 LED
	スイッチ	電源オン/オフ/ペアリング, 音量大, 音量小
	電源	単 4 電池 2 本 (1.5V アルカリ乾電池または 1.2V ニッケル水素充電電池)
	電池動作時間 (参考)	アルカリ乾電池 7 時間 30 分以上 ニッケル水素充電電池 (エネルーブ) 6 時間 30 分以上
	寸法	74mm × 120mm × 24mm
	重量	約 140g (電池含まず)

共通

無線	周波数	2.4GHz 帯
	アンテナ	内蔵
	音声データ圧縮	なし
	到達距離	見通しで 10m 程度 (使用環境に依存)
	認証	工事設計認証取得済みモジュール 弊社 CPI-WAM001/MI-1 搭載 日本国内において無許可で使用可能
	親機への子機接続数	1~4
音声	遅延時間	21.33ms@48kHz/23.22ms@44.1kHz/32ms@32kHz (1024 サンプル)
本体	動作温度範囲	5~50°C
	保存温度範囲	-5~70°C

製品のお問い合わせについて

- ◆ お買い求めいただいた製品に対する次のようなお問い合わせは、お求めの販売店又は株式会社シーピーアイテクノロジーズへご連絡ください。
 - ・ お求めの製品にご不審な点や万一欠品があったとき
 - ・ 製品の補充品や関連商品について
 - ・ 本製品を使用した特注製品についてのご相談
- ◆ 技術サポート ——— 技術的な内容のお問い合わせは、「電子メール」「ファクス」「郵送」のいずれかにて、下記までお問い合わせください。また、お問い合わせの際は、内容をできるだけ詳しく具体的にお書きくださるようお願いいたします。

————— 技術的な内容のお問い合わせ先 —————

株式会社シーピーアイテクノロジーズ テクニカルサポート
〒240-0003 横浜市保土ケ谷区天王町 1-1-13 吉野ビル 3F
E-mail support@cpi-tec.com
FAX 045-331-9203

ワイヤレスヘッドホンシステム
CPI-WX101シリーズ
ユーザーズマニュアル

第1版第1刷発行 2016年3月15日

第2版第1刷発行 2023年1月15日

発行所 株式会社シーピーアイテクノロジーズ

〒240-0003 横浜市保土ヶ谷区天王町1-1-13 吉野ビル3F

TEL 045-331-9201 FAX 045-331-9203

不許複製

T0037-UM1-230115

© 2016-2023 株式会社シーピーアイテクノロジーズ